



日本ベンジャミン人間性英才学校  
Japan Benjamin School for Character Education

# ベンジャミン

通信

2016/8/24発行

第12号

日韓  
国際ワークショップ

日本ベンジャミン人間性英才学校からグッドニュースや生徒たちの成長をお届けします

## 伊勢で日韓国際 ワークショップ開催

地球市民  
青少年サミット

8月20〜21日、ILCHIHSP伊勢研修院にて「日韓国際ワークショップ」が開催されました。来日した韓国のベンジャミン人間性英才学校3期生と合わせて40名の生徒が参加し、「We are Earth Citizenへそから地球まで」をテーマに、国際交流を通じて地球市民意識を養う時間になりました。

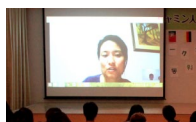


今回のメインプログラム「地球市民青少年サミット」は、地球市民宣言の朗読で始まり、地球市民宣言、人権、平和チームに分かれて、6か月間一緒に実践していく内容を決めて発表しました。

オンライン  
招待メンター講義

オンラインでは、2人のメンターを招待し講義が行われました。

米国ECO(市民運動連合)のステイブ・キム運営理事は地球温暖化問題への答えとして、科学・技術ではなくライフスタイルそのものが変わるべきで、人と地球がつながっているという地球市民の精神を実現したときのみ、地球環境の回復も可能であると伝えました。



南米ポリビアで支援活動をしているNGO「DIFAR」の瀧本里子代表は、下痢と感染症に苦しむ子供たちのためにエコトイレを作り、ゴミを分別し、生ゴミを堆肥にするなどの様々な活動を行っています。この活動を始めたきっかけや人々が変化した様子を話し、生徒たちが決めたプロジェクトの実践に役立つことを願っていると締めくくりました。



伊勢志摩の街で  
へそヒーリングGO

人気ゲーム「ポケモンGO」になぞらえた弘益プログラム「へそヒーリングGO」では、生徒が近隣の住民にへそヒーリングを伝えに行き、コミュニケーションする勇氣と喜びを感じました。

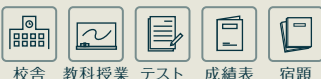


思い切り遊んで、帰って、通じあう2日間を過ごした日本の生徒たちは「韓国の友達と一緒にしたのがとても楽しかったし、これから夢に向かって進む原動力になった」「言葉を越えて交流できた」「初めて会ったのに地球市民として明るく交流できて貴重な体験だった」「できないと思っていたくなかったこともただやってみると、意外とうまくできた。視野が広がった」といった感想を話してくれました。



### ベンジャミン人間性英才学校は

生徒が自己価値を高めて夢を実現できるよう導く1年課程の自己主導型代替学校です。「テスト」「成績表」「宿題」「教科授業」「校舎」のない環境で、地域社会や世間を学び合ひとし、様々な出会いや体験活動を通して自分自身を見つめ直していきます。ベンジャミン学校の特徴の一つである「メンター」のサポートを受けながら、世界に役立つリーダーへと成長していきます。



校舎 教科授業 テスト 成績表 宿題

韓国の生徒たちからは「言葉が通じなくても心で十分に通じ合えて楽しかった」「日本の友達と一緒に共同プロジェクトには必ず参加したい」「日本の友達とディスカッションしながら、より良いアイデアが得られた」「地球市民として一緒に成長できたみたいで嬉しかった」などの感想がありました。

